

個別施設計画

策定年月 H30.1

施設名	岡山県青少年教育センター閑谷学校		所在地	備前市閑谷784	
敷地面積	27383.07 m ²		棟数	21 棟 (計画記載対象 2 棟)	
延床面積	5819.03 m ²			※対象は200㎡以上の建物(車庫、倉庫等は500㎡以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	国宝を有する特別史跡「旧閑谷(しずたに)学校」の環境と伝統を保護・継承するとともに、心身ともに健全な青少年を育成する。				
【想定される自然災害】					
予想震度 5弱		津波 —		浸水 —	
建築規制	都市計画区域外				
エネルギー使用量 (2016 年度)	電気 251,692 kwh	ガス 32 m ³	水道 9,817 m ³	燃料 (灯油) 17,346 0	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし				

1 施設内建物の概況

名 称	本館	ロッジ棟	
築年(西暦)	1991 年	1990 年	年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	木 造 1 階	造 階
建築面積	2,265.57 m ²	627.34 m ²	m ²
延床面積	4,513.90 m ²	627.34 m ²	m ²
主要な用途 (室名等)	研修室(5室) 宿泊室(18室) 指導者室(6室)	大ホール 指導者室(2室) 管理室(1室)	
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	電力設備(受変電設備) 空調設備 給排水設備	
利用状況	高	中	
耐震性 ※1	有	有	
躯体(コンクリート)の健全性 ※2 ※耐震診断済のみ			
長期使用の適否	適	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕・改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館	・設備等の定期更新を実施する。
ロτζ棟	・設備等の定期更新を実施する。

3. 施設全体のスケジュール (概 要)

設備更新等 劣化の状況を確認しながら、設備等について順次更新を行う。											
---------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館	設備等の 定期更新 (修繕・改修を含む)	屋上 防水	外壁 改修				動力消防用ポンプ		受水槽・高架水槽 揚水ポンプ		
		非常用 発電機	厨房床 改修						照明のLED化		
										冒険の森 遊具更新	
ロッジ棟	設備等の 定期更新 (修繕・改修を含む)								高架水槽		
										照明のLED 化	

4. 概算費用

・総額 2億円

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R5.3	ロッジ棟において、高架水槽の更新スケジュールを変更
R6.3	・本館において、受水槽・高架水槽揚水ポンプのスケジュールを変更 ・本館、ロッジ棟において、照明のLED化のスケジュールを追加
R7.3	本館において、冒険の森遊具更新のスケジュールを追加